



ロータリーの
マジック

2024-25 年度 RI テーマ



国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報

例会：毎週金曜日

会場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30

TEL：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内

TEL：054-646-3919 FAX：054-643-2000

E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2024-25 年度
会長：漆畑雄一郎 副会長：鈴木寿幸 幹事：中山恵喜 副幹事：加藤智之

例会 第 1572 回 通常例会/小杉苑
ソング：君が代、奉仕の理想 ソングリーダー：秋谷貴也君

■ 会長挨拶 漆畑雄一郎君



本日は理事会が開催され、指名委員会の報告がありました。まだ本年度が始まって四ヶ月ですが、早いもので次年度・次々年度の会長が内定していくという時期になりました。ここ数年はロータリーも三年間の目標を持って、行動計画を策定するように地区から方針が示されたりしていますので、人事が決定した際には一度話し合いを持ちたいと思います。

また、本日は「古着でワクチン事業」での回収日です。前方の大きな袋に、もうすでに多くの古着の寄付をいただいております。誠にありがとうございました。早速地区に送ってワクチンへと有効に利用させていただきます。来週末には地区大会が開催されます。8日は例会が休会なので、地区大会に参加される皆様とは当日までお目にかかる機会がありませんが、甲府の地でお会いできることを楽しみにしております。

11/7の二十四節気は立冬です。まだまだ夏日になる日もあり、暖かい日がありますが、暦の上ではもう冬ということです。季節の進むのは早いものと実感します。七十二候は、山茶始開（つばき

はじめてひらく)、地始凍（ちはじめてこおる)、金盞香（きんせんかさく）です。

■ 出席報告 増田陽子君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
39/51 76.47%	41/51 80.39%

(1)欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)
 ○江崎君○笠原君○川口君○佐野芳君○杉浦君
 ○鈴木照君○中村君○平原君○森竹君○山田壽君
 ○山田幸君○渡辺哲君

(1)メイクアップ者
 内山淑夫君 (浜松) 小嶋英公君 (藤枝)
 鈴木寿幸君 (地区) 竹田敏和君 (地区)
 古川賢吾君 (日本平) 増田陽子君 (地区)
 山田幸保君 (ホリオ)

食事準備数	食事提供数	残	累計残
42	42	0	13

パーフェクト例会数：😊😊😊😊😊😊
欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

■ スマイルBOX 増田陽子君

・誕生日プレゼント有難うございます。23日で78才になります。この日は、皇室行事の一つでもあります新嘗祭の日でもあります。皇室を尊敬する私にとっては、いい日に生まれた

- と改めて思っております。 伊藤恒夫君
- ・結婚記念日のお祝いありがとうございました 稲葉俊英君
39年たちました。
- ・私の妻に誕生日プレゼント頂きました。結婚記念日も忘れてました。 飯田敏之君
- ・妻の誕生日プレゼントありがとうございました 富澤賢一君
- ・お誕生日と結婚記念日のプレゼントありがとうございました。感謝、感謝、感謝です。 鈴木寿幸君
- ・誕生日、妻誕生日、結婚記念日のプレゼントありがとうございました。また一つ年をとりました。 鈴木健夫君
- ・結婚記念日のプレゼントありがとうございました。来週は地区大会で週末留守にするので、今週はしっかり祝いたいと思います。 中山恵喜君
- ・結婚記念日のお祝いありがとうございました。 淵脇一啓君
- ・妻の誕生日プレゼント、結婚記念日プレゼントありがとうございました。 村松章典君

スマイル累計額 377,890円

■ 会員卓話

加藤智之君



(株)カトウ製茶は、製茶問屋という職業分類になります。

お茶は消費者に届くまでに、1次加工（荒茶加工）をして市場

に出る2次加工（製茶加工）をしてはじめて製品になり、店頭にならんだり、食品飲料工場に出荷されたり、消費者の手元に届きます。

弊社は、その2次加工の担う製茶工場になり、主に業務用の緑茶を製造しています。

主な業務内容は、市場で買い付けたお茶を整形したり、ブレンドしたり、火入れをしたりしますが、コーヒーで言うところの焙煎である火入れ技術がお茶の品質を左右する大きな技になり、会社の特徴になります。

ここでは、その緑茶の出来るまでとお茶の種類

を下記の表にまとめ、簡単に記します。緑茶もウーロン茶も紅茶も同じ樹からなります。品種こそ適正によって違いますが、同じツバキ科に茶になる。

違いは、茶摘みをしてからの発酵させるかどうか（業界的には萎凋と言いますが）です。

茶摘みをして直ぐに蒸気を当てる⇒発酵をとめる⇒緑色が保たれる

茶摘みをして半発酵をさせてから製造に入る⇒半褐色の色になる ⇒ウーロン茶

茶摘みをして長時間発酵させてから製造に入る⇒褐色して ⇒紅茶

その他、茶畑の育て方で様々なお茶ができます。お茶の旨味であるテアニンは、日光を浴びるとカテキン（苦味）になります。それを防ぐ為、茶畑に覆いをして

日光を遮って作るのが、玉露や碾茶といったお茶になります。そして碾茶は抹茶の原料になります。手間暇かかるお茶は、それだけ高級茶として流通に流れます。



(株)カトウ製茶を宜しくお願いします!!!

数野晴紀君



数野自動車は藤枝に昭和12年に創業して、現在87年を迎える会社になっております。当初は私の祖父が藤枝で、バイクの整備をしたり作ったりすることで元は今の藤枝の駅前で起業したと聞いております。

昭和40年ごろに今のところに会社を建てて整備工場として運営を始めたようです。今回のこの

昭和40年ごろに今のところに会社を建てて整備工場として運営を始めたようです。今回のこの

卓話をきっかけに会社のことを見ていたら、昭和43年と平成元年の航空写真が出てきました。昭和40年ごろ、旧国道一号線は存在しているものの民家は青島小学校から青木の五差路を流れる東海道に多く存在し、旧国道一号線の当社の周りは、材木屋だったり小学校のころ通ったこともあるつるや食堂があるくらいで田んぼや山が写真のほとんどを占めていました。自分の通っていた青島小学校もその当時は、市の体育館のところにあったようで、昭和50年くらいに今のところに立て替えを行ったということでこの写真には小学校は映っていませんでした。

平成の写真では、だいぶ周りが開拓され始めていました。このころは駿河台が開拓されて青島北小学校が昭和の最後のころにでき、平成に入って藤枝市立総合病院が移転したところで駿河台がだいぶ住宅街になった頃でした。昭和40年の写真に比べて、道路もしっかりしてきて、谷稲葉に抜ける道もきれいに舗装され駿河台の山を抜ける道で映っていました。うちの会社の周りにも青島小学校が建て替えを行ったことから、住宅街も増えて写真の半分が住宅地になっていました。

今でこそ旧国道一号線はディーラーや中古車屋が立て並ぶ道になっていますが、その写真を見たときは車に乗る人が増えてきていたといっても全然工場とかがなかったことがわかりました。

それに伴って、車の保有台数も調べてみました。車の保有台数は、1970年は870万台だったのが、2022年には6,200万台になっています。1900年後半から2000年に入るところに生産台数も増えていいるようで、仕事でも家庭でも自動車の使用率が多くなっていることがわかります。この時期に各地に整備工場も増えて始めたのだと思います。

地域別の保有台数も調べてみました。100世帯当たりの保有台数が一番少ないところはやはり東京でした。あれだけ車が道路を通っていますが、交通網がしっかりしていて、他県から入ってくる車が多いのと駐車場が高くて確保できないといったことから少ないのだと思います。100世帯当たり42.1台という結果でした。そして、一番多いのは福井県でした。こちらは100世帯当たり170.8台となっていてほぼ1世帯2台持っているようです。上位はおそらく交通の便と県の大きさにもよる結果になっているのだと思います。静岡県は18位でした。100世帯当たりの保有台数は137.5台で1世帯当たり1.5

台という結果でした。

私のお客さんでは、2台持つご家族の方が多いのでこの結果は意外だなと思いました。

ここからやっと仕事の話になります。

自動車整備はどのように変わってきたかという、車の性能によって大きく変わってきています。昔の車というのは機械といったイメージで、足で踏んだ力が棒を伝ってエンジンの回転を上げる。ブレーキも踏む力で液体を通じて、圧力をかけて踏んだ力の分の制動力を得る機械的なので、整備もその部分のリンクが壊れたり壊れているものを見て直すというものでスパナなどの工具を使って直す修理でした。

その後、電子機器が組み込まれるようになって、修理もセンサーが壊れるとチェックランプがつくという仕組みも出てきてその診断をしないと直せなくなりました。

さらに進化を進めている車は、自動運転ができる車が開発されてきていて、自動運転にはレベル0から5までの6段階になっていて、まったく運転支援のない0レベルから、最近レベル1から2の車線を維持しながら前の車について走るものから、最近発表されたホンダの車では、完全自動運転ができるというものも近々出始めそうです。钣金修理に関しても変わってきており、昔は、ぶつかった部分をたたいて塗装して直すといったイメージでしたが、最近では、ブレーキサポートという、障害物を感じ取って児童にブレーキをサポートする機能がついているため、バンパーに組み込まれたセンサーやカメラによって、事故はだいぶ減っていると聞いております。その代わり、事故をした際は、ちょっとした事故でも、あらゆるところにセンサーがついているため、今までと同じ修理の内容でも、センサーの交換やカメラの調整などが生まれ修理代が高額になっています。それと同時に、車の材質も変わってきていて、自動車の軽量化が進み、乗用車では、超高力鋼板が使われ、今までよりもかなり薄い鉄板でドアなどが作られています。軽自動車に関しては、リヤゲートやフェンダーというパネルは樹脂で作られてきているものもあり、ぶつけると技術や工具がない工場では、すぐ交換というものになってきておりますので皆様運転には十分ご注意ください。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
11/15(金) 第 1573 回	地区大会報告	小杉苑
11/29(金) 第 1574 回	がハナ-補佐訪問	小杉苑
12/6(金) 第 1575 回	クラブ年次総会	理事会
12/13(金) 第 1576 回	会員卓話	小杉苑



今週の一言

望月誠君

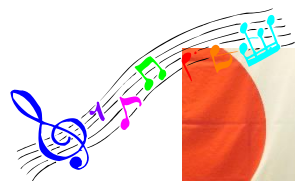


私が行ったところ、行きたいところは、ドイツ今から 31 年前の平成 5 年 8 月に新婚旅行でフランス、ドイツと旅行をしま

した。ドイツでのローテンブルクは中世の町並みでありました。次の訪問地のノインシュバインシュタイ城を訪れるのでありますが、城にたどり着くまでにロマンチック街道をバスで走行するのであります。しかし、ロマンチック街道の風景、町並みはほとんど見れていませんでした。バスの中で寝ていたからであります。

今思うと、街道の風景、町並みを見れなかったことを、たいへん悔やんでおります。これより、妻にもう 1 度、ドイツのロマンチック街道を旅してみないと聞きましたが、9 年前に妻と娘と 2 人で、ドイツ、フランス、スイスを旅行しているために、却下されました。

行ったところ、行きたいところはドイツのロマンチック街道であります。



おめでとうございます！





(担当/杉山茂範君)